

展覧会

# 月丘夢路 井上梅次 100年祭



Yumeji Tsukioka and Umetsugu Inoue at their Centenary

2023年8月22日[火]－11月26日[日]

宝塚歌劇団から映画界に入り、美貌と優れた演技力を併せ持つトップスターの地位を築いたのも、主演・助演を問わず数多くの作品に出演して息長く活躍した女優・月丘夢路(1921-2017)。そして新東宝を皮切りに大手6社11系統すべての撮影所でメガフォンをとり、観客を惹きこむ娯楽性に富んだ作品を次々に送り出して映画界を潤し、後にはその手腕を買われて香港映画にも招かれた映画監督・井上梅次(1923-2010)。黄金期の映画界で出会った二人は1957年に結婚、日本映画界屈指の名カップルとしても知られました。

夫妻の生誕100周年を記念して開催する本展覧会「月丘夢路 井上梅次 100年祭」は、井上・月丘映画財団の特別協力のもと、二人が遺した作品資料や個人資料を一挙に公開し、人々の心をつかみ、映画界の発展にも貢献した夫妻の映画人生をたどります。幅広いジャンルにわたり、エンターテインメントとしての映画に生きた二人の映画人の華麗なる軌跡にご注目ください。

## 見どころ

### 1. 二人の映画人の足跡を多岐にわたる資料でご紹介

生誕100年を迎えた映画女優・月丘夢路と映画監督・井上梅次。日本の映画界に大きな足跡を残した夫妻の歩みを、井上・月丘映画財団の全面協力のもと、本人たちが遺した多岐にわたる資料によって振り返ります。

### 2. NFAJ所蔵のポスターで二人の映画人生をヴィジュアルに追体験

会場には国立映画アーカイブ所蔵のポスターも展示し、関連映画作品のポスターギャラリーをお楽しみいただけます。

### 3. 関連作品のデータを集めたデジタル展示

月丘と井上が携わった多数の作品から選りすぐった25作品のデータを、デジタル展示システムにてご紹介します。

### 4. 月丘夢路の歌唱や井上梅次作品の主題歌が聴ける音楽展示

歌手としても活躍した月丘の録音や井上監督作の主題歌など合計15曲をお聴きいただけるコーナーの他にも、当時発売されたレコードや楽譜などの音楽関連展示も豊富にご用意いたします。

## 展覧会の構成

### 映画女優 月丘夢路

1921年、広島市に生まれた月丘夢路は、高等女学校在学中に鑑賞した宝塚歌劇団の公演に強い感銘を受け、1937年に宝塚音楽学校へ入学します。1939年には初舞台を踏み、翌年『険の戦場』（清瀬英次郎監督）で映画デビュー。1942年に出演した『新雪』（五所平之助監督）の大ヒットによって一躍人気女優となります。翌年には宝塚を退団し、大映と専属契約を結びました。その後、松竹、日活と各社を渡り歩き、映画女優として活躍。フリーランスに転身後、1970年以降は主軸をテレビや舞台に移し、亡くなるまで現役として輝き続けました。恵まれた美貌と高い演技力で人気を誇った女優・月丘夢路の軌跡をたどります。

[主な展示品] 女学生時代の日記、直筆原稿、スチル写真、時計等の愛用品



(左) 月丘夢路 (1950年代) (右) 月丘夢路後援会「夢路会」会報『夢』(1956年)

### 二人の歲月



(左) 『火の鳥』(1956年、井上梅次監督)撮影スナップ (右) 井上梅次・月丘夢路夫妻 (1960年頃)

月丘が日活へ移籍した1955年、時を同じくして井上梅次監督も新東宝から日活に移籍し、『火の鳥』(1956年6月公開)において、主演女優と監督として初めて仕事を共にしました。二人は撮影をきっかけに親密な関係となり、翌年10月に結婚式を挙げます。以来、2010年に井上が死去するまで50年以上にわたって睦ましい歳月を送りました。二人そして彼らが築いた家族の送った日々を振り返ります。

[主な展示品] 二人の往復書簡、スクラップブック、井上作の絵画

### 映画監督 井上梅次

1923年、京都市に生まれた井上梅次は、慶應義塾大学在学中から映画撮影のアルバイトに従事し、大学卒業後の1947年に新東宝へ入社。日活への移籍を経てフリーランスとなり、日本の映画監督で唯一、大手映画会社6社11撮影所すべてで作品を手がけました。各社で次々と新人俳優を発掘した稀代のスターメーカーであり、日本では数少ない“音楽映画”の名匠でもありました。1966年には香港の映画会社ショウ・ブラザーズに招かれ、香港映画界にも大きな影響を与えました。効率的な製作スタイルと観客心理を巧みにつかむ作劇によって、戦後の日本人監督としては最多となる116本を監督し、映画界に多大な貢献を果たした井上の映画人生を振り返ります。

[主な展示品] 脚本、製作資料、スナップ写真、メガネ等の愛用品



井上梅次 (1964年頃)

## 開催概要

	<b>月丘夢路 井上梅次 100年祭</b> (英題 / Yumeji Tsukioka and Umetsugu Inoue at their Centenary)
主催	国立映画アーカイブ
特別協力	一般財団法人井上・月丘映画財団
会期	2023年8月22日 [火] - 11月26日 [日]
休室日	月曜日および9月5日 [火] - 8日 [金]、9月26日 [火] - 10月1日 [日]
開室時間	午前11時 - 午後6時30分 (入室は午後6時まで) *8/25、10/27、11/24の金曜日は開室時間を午後8時まで延長いたします。(入室は午後7時30分まで)
会場	国立映画アーカイブ 展示室 (7階)
アクセス	東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分 JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分
料金	<b>一般 250円 (200円) / 大学生 130円 (60円) / 65歳以上、高校生以下及び18歳未満、障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料</b> * 料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。* ( )内は20名以上の団体料金です。 * 学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、キャンパスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。 * 国立映画アーカイブが主催する上映会の観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」、またはQRコードのプリントアウト)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。 * 2023年11月3日(金・祝)「文化の日」は、無料でご覧いただけます。
お問合せ	050-5541-8600 (ハローダイヤル)
HP	<a href="https://www.nfaj.go.jp/exhibition/tsukioka-inoue100/">https://www.nfaj.go.jp/exhibition/tsukioka-inoue100/</a>
関連書籍	<p>『<b>月丘夢路 芍薬な月</b>』          [編著] 一般財団法人井上・月丘映画財団          [発行] 講談社エディトリアル          ISBN:978-4866771236 176頁・B5判変型 定価:3,300円+税</p> <p>『<b>井上梅次 創る心</b>』          [編著] 一般財団法人井上・月丘映画財団          [発行] 講談社エディトリアル          ISBN:978-4866771229 144頁・B5判変型 定価:2,700円+税</p> <p>※全国の書店・各ネット書店で販売中。会期中、当館1階受付でも販売しています。</p>
関連上映	企画上映「 <b>月丘夢路 井上梅次 100年祭</b> 」 会期:2023年10月31日(火) - 11月26日(日) 会場:国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU [2階] ※詳細は今後HPにてお知らせいたします。



### 【本展覧会に関するお問合せ】

国立映画アーカイブ 事業広報担当: 横田 / 展示・資料室: 岡田・藤原

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6 MAIL: [pr@nfaj.go.jp](mailto:pr@nfaj.go.jp) TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830

広報用画像 & 読者プレゼント招待券 申請書

展覧会「月丘夢路 井上梅次 100年祭」

送付先 国立映画アーカイブ 広報担当 メール：pr@nfaj.go.jp FAX：03-3561-0830

\* 広報用画像をご希望の方は、本プレスリリースに掲載されている画像右下の番号をご参照の上、貸出を希望されるデータの口にチェックをつけ、上記の宛先までをご送付ください。

①	月丘夢路（1950年代） 井上・月丘映画財団所蔵
②	井上梅次（1964年頃） 井上・月丘映画財団所蔵
③	井上梅次・月丘夢路夫妻（1960年頃） 井上・月丘映画財団所蔵
④	『火の鳥』（1956年、井上梅次監督）撮影スナップ 国立映画アーカイブ所蔵（日活株式会社旧蔵）
⑤	月丘夢路後援会「夢路会」会報『夢』（1956年） 井上・月丘映画財団所蔵

※太字の作品名・制作年・日本公開年・監督名・著作権表記は掲載必須です。

画像データ貸出希望日時	月	日	時頃までに希望
読者プレゼント招待券	組	名（合計	枚） 希望します

**プレス・イメージ貸出条件**

1. 画像は、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。2. データを第三者に渡すことは禁じます。使用後、画像データは消去してください。3. 展覧会の名称、期間、会場は、適切な場所、大きさを明示していただくようお願いいたします。4. 作品画像は全図で使用してください。部分使用やトリミング、作品に文字を重ねることはできません。5. **画像を掲載される際には、イメージ貸出時に添付するクレジットをご記載**ください。6. 掲載紙（誌）は、1部、広報担当宛にご寄贈ください。webサイトの場合は、掲載時にお知らせください。

\* 画像データ(JPEG)にてお貸出いたします。その際、一緒にお送りするキャプションもご確認ください。

\* **掲載前に、校正紙をお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。**

お名前： \_\_\_\_\_ ご所属・媒体名： \_\_\_\_\_

出版物・放送番組名： \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

メールアドレス： \_\_\_\_\_